

人とのかかわりや対話を通して、
主体性を育み、自己決定できる子

西が岡地区
領家キッズ保育園
宮の台幼稚園
西が岡小学校

昨年度の成果と課題

重点課題

- 年間を通した「園児・児童のペア活動」を通して、
- ①自己の成長に気付く。（児童）
 - ②小学校への期待を高める。（園児）

児童

- ・一人ひとりのペアの園児に寄り添った活動を模索し、交流内容を自分で決める経験
→自己決定する力
- ・ペアと自分の関係性がよりよい変化
- ・友だちとペアとの関係の変化への気付き
→自分の成長、友だちの成長への気付き

園児

- ・年間を通した繰り返しのかかわりの中で
人との交流を楽しむ姿が見られた。
- ・かかわりの中で、小さな自己決定を積み重ねられた一方で、児童中心の計画が多く、園児の思いを表現する機会が少なかった。

3年間の推進テーマ

『人とのかかわりや対話を通して、主体性を育み、自己決定できる子』

小学校→保育園→幼稚園の3年間で同じ推進テーマからそれぞれの視点や気付き・考えを知っていく。

【昨年度の成果と課題】

○児童も園児も重点課題（児童：自己の成長への気付き 園児：小学校生活への期待を高める）は達成された。
△園児が自己決定する機会の設定

【次年度へ向けて】

- ・園児の主体的な参加・自己決定する場を設定できるようにする。

・ 幼保小推進委員会で、年間予定作成

- ➡ ・ 昨年度、学校と幼稚園・保育園の予定を合わせることが難しかったと反省があたり今年度は学級ごとに幼稚園、保育園と分かれてペアを組むことで、予定を合わせやすくする事を試みをする。

年度当初の推進委員会で、各園の行事予定を持ちより、年間交流計画を立てる。

園児と児童のペアを決めるために子どもが主体的に関わり、自己決定する機会を持つてそうなペアは誰かを相談する。

・ 昨年度好評だった「思い」を高める出合いの工夫を継続する

- ➡ ・ 出合いの日は同じ日に設定するが、交流を持ちたい期待感を大切にしたいので、前半が1年1組と保育園、後半を1年2組と幼稚園のようにして関わりを持ちやすくする。

・ 1年目は小学校・2年目は保育園・3年目は幼稚園が同じ推進テーマで活動報告を作ること、それぞれの視点や気づき・考えを知っていく機会にする。

出合いの工夫 5月

これから関わりを持つことへの期待の場

「私、回すよ！」



「縄を回せるんだ！すごい！」

大縄や虫網を持っていき、遊びや対話を通して関われるようにする。

また一緒に遊ぼうね

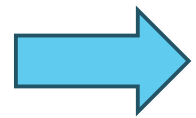


ハイタッチ！

時間設定を短くして、次の交流への期待を高める。

・ 保育園は名札がないため、
名札を手作りして期待する気持ちを更に高める。

意欲が見られる



- ・ 小学生のペアの子どもの名前を知らせる。「女の子かな」「男の子かな」「どんな子だろう」といよいよ始まる交流に期待と緊張の気持ちが生まれる。
- ・ 昨年度の年長担任にどんなことをしたか聞く子どもがいる。

・ 交流当日は雨だったが、交通ルールやマナーを確認し傘を持って歩くことも経験に繋がる。



第1回「なかよしの会」 6月



「1年1組はこっちだよ！」

決まったペアと一年間を通して
関わりを持つことで、
安心して交流ができるようにする。



1年生がリードして一緒に遊んでいます。



こうやって
折ってごらん

第2回「七夕の会」 7月



一緒に作ろうよ！



こんなの
作れるよ！



「私たちと遊ぶことが1年生の勉強になるの？おもしろいね。」

思ったことを言って
いいんだ！

保育園でも笹飾りを作る機会があるので、協力して作ることができる。



第3回「なつあそび」 7月

- ・ 小学校に慣れてくる。
- ・ ペアを覚えて、行動が早くなる。
- ・ 何をしたいか小学生が聞いてくれることで、自分の思いを伝えられるようになる。

次はなに描く？



園児がリードして
水遊びが展開するようになる。

保育園へ小学生が遊びに来てくれる計画を立てる。

秋あそびに向けて

【裏の公園でどんぐり拾いをしよう】

- ・どんぐりの名前を覚える子どもがいる。
- ・今年は、くぬぎがほとんど実らなかった
ので、事前に他の公園のどんぐりを集めておく。
- ・どんぐりに顔を描き、用意しておく。
→一緒に描きたいな。

協力して遊べるように、砂場でどんぐりスライダーのセットを用意する。

【部屋ではどんなことをしたいか】

保育園には玩具が沢山あるから、一緒にいっぱい遊びたい。

ポケモン人形の数の多さにびっくりしそう。

【園庭ではどんなことをしたいか】

サッカーと一緒に遊びたい。力がもっと強くなっているかな。

第4回「なかよしの会～保育園へようこそ～」 9月



あ！！きたー！



直前まで雨が降っていた。
「濡れてきたらどうする？」
「タオル貸してあげよう！」
と心配して到着を待った。

おもちゃ
使ってい
いよ。



裏の公園まで
どんぐり拾いに行こう。

第5回「運動会頑張っねの会」 10月

昆虫が好きな園児が廊下に
掲示してある作品を見つけ
て、じっくりと見ている。



自分のペアを探して応援する。

保育園の運動会前に小学生から応援
ビデオレターが届き、喜んでいた。
また、次は応援する力に繋がった。



がんばれ～
かっこいい！



この絵すごい！

第6回「あきあそび」 11月

散歩で拾ったどんぐりや毛糸を持っていくことで、積極的に小学生と関わることができる。



「このうさぎ
噛まない？」

「一緒に
作ろう」



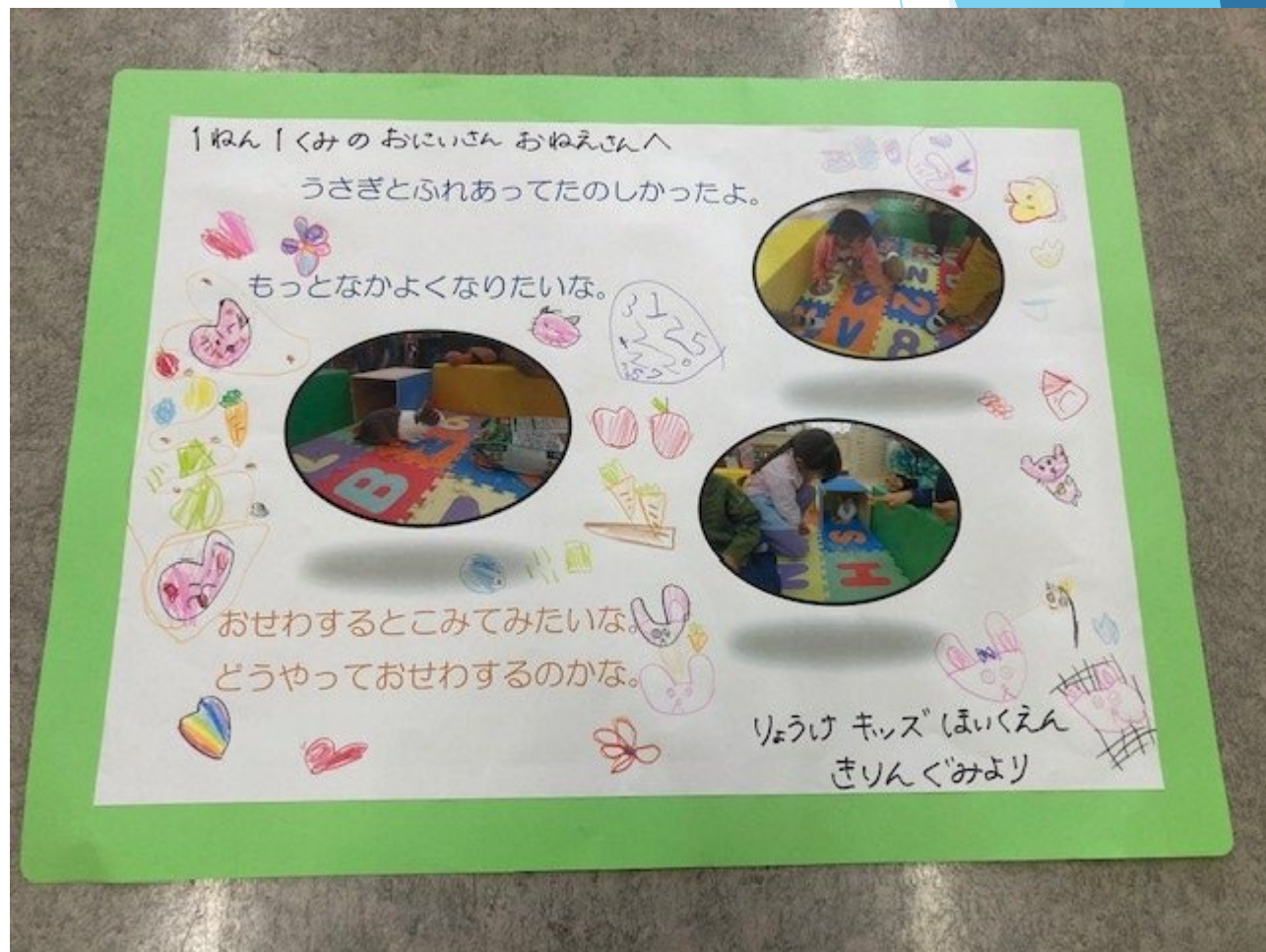
「怖いな」

「見た目は
可愛いのに
目が怖い」



小学校の生活科の授業でうさぎを飼育することになり、
交流時にかかわる機会を作ってもらおう。

「うさぎ、かまないなら
触ってみたいな。」



第7回「ふゆあそび」 12月

「こうやって
さわってごらん」



「ふわふわ」

・散歩で拾った松ぼっくりや
ペンを持って行き、交流が深
められるようにする。

「ペアの子とおそろいで作るんだ！」
「作ったものを交換しようかな。」



うさぎとの関わり方を
優しく教えてくれる。



2月13日 幼保小交流予定



いよいよ卒園が近づき、小学生になるんだと意識し始めています。

「まだ、小学校に遊びに行ける？」

「あと、何回くらいある？」と小学生との交流を楽しみにしています。

「来年は、西が岡小に行く子はまたやるの？」そんな会話も聞こえてきます。

一年生になることへ、わくわく・ドキドキする気持ちを持ちながら、安心する気持ちも芽生えていける交流になればいいなと思っています。

今年度の成果と課題

重点課題

年間を通した「園児・児童のペア活動」を通して

- ①自己の成長に気付く。(児童)
- ②小学校生活への期待を高める。(園児)

小学校

- ・ 昨年やってもらったことを伝えたり、返そうとしていた。
- ・ 園児に対する理解が深まった。
- ・ 学校だけでなく保育園での交流もあり、自分の気持ちを主張し伝え合うことができた。
- ・ うさぎを通していつもと違う一面が見られて新鮮だった。

保育園

- ・ 決まったペアと1年間を通して関わりが持てたので、交流を重ねて行くたびにやりたいことや、やってみたいことを伝えられるようになった。
- ・ 小学校へ行く機会が増えたことで、楽しみにする気持ちを抱いたり学校が身近な場所になっていった。

幼稚園

- ・ 最初は個々がそれぞれ楽しんでいましたが、回数を重ねるごとに距離が縮まっていった。
- ・ 幼稚園の行事が多く、予定が合わない難しさを感じた。

3年間の推進テーマ

『人とのかかわりや対話を通して、主体性を育み、自己決定できる子』

【今年度の成果と課題】

○年度初めに子どもの様子を伝え合いながらペアを作ったことが良かった。
(自己決定しやすい場面が生まれやすかった。)

○幼児期にはさりげなく意図的な援助を行うことで、より自らの思いを実現させていこうとすることが分かった。

△幼稚園は年間行事計画がしっかり組まれているので、来年度はどのように活動していくか工夫が必要だと分かった。
来年度の推進委員会を4月に行えるように話し合っていく。